



私は今、フィリピンでJICA海外協力隊として児童への災害・防災教育をしている。「侵略国」。これはあるフィリピンの若者がもつ日本のイメージだ。1940年代前半、旧日本軍によるフィリピン侵



フィリピン
山本土温さん(24)
大田市出身

歴史を学び 使命感新た

旧日本軍の兵士にも私たちのように父母や子どもがいた。恋人や友達がいいて、故郷があった。それらを愛する気持ちはどの時代も一

緒だろう。それらの愛する者を守るため、自らも子を持つ親ながら幼い子を含む民間人を殺した。私は彼らの心情を全く理解できない

と思う。日本はフィリピン人が最も信頼する国の一つとされている。それは戦後、日本人として生きることが難しい中でも、フィリピンの発展に貢献してきた先人の尽力のたまものだと思

う。歴史を学び、日本人としてフィリピン人の命を守ることに価値があると考えている。またそれを通して、先祖やフィリピンの方への感謝や追悼、償い、さまざまな思いを示そうと思う。帰国後は、地域や外国人を含む人とのつながりに根ざしたコミュニケーション・防災に取り組みたい。かつての先人たちのように、日本を守っていききたい。



自然災害についての授業風景

い。ただ、そこには想像に絶する葛藤があったのだから、うとも考える。だから戦後のフィリピン人の反日感情が非常に高かったことは、至極当然のことだろう。一方で、現在の

日本はフィリピン人が最も信頼する国の一つとされている。それは戦後、日本人として生きることが難しい中でも、フィリピンの発展に貢献してきた先人の尽力のたまものだと思

う。歴史を学び、日本人としてフィリピン人の命を守ることに価値があると考えている。またそれを通して、先祖やフィリピンの方への感謝や追悼、償い、さまざまな思いを示そうと思う。帰国後は、地域や外国人を含む人とのつながりに根ざしたコミュニケーション・防災に取り組みたい。かつての先人たちのように、日本を守っていききたい。